

令和3年度 個別作業計画(案)

資料 1-3

種別	モデル地区名	計画策定者	作業予定日	作業概要(目的、範囲、方法等)	必要人員	必要な道具	必要な消耗品	その他必要な事項
外来種 駆除	池のくるみ (ハルザキヤマガラシ)	小和田牧野 農業協同組合	5月29日(土) 予備日5月30日(日)	池のくるみ地区に侵入が見られる「ハルザキヤマガラシ」を駆除する。駆除範囲は高標高地から種が流入しているおそれがあるため、お花畑駐車場付近から池のくるみ一帯を行う。駆除方法としては県が作成した外来植物駆除対策の手引(以下「手引」という。)に基づき、刈取により行う。ロゼット型の個体(幼体)は抜取により行うが、抜取の場合は土壌の攪乱を防ぐため、抜取後は復元し、周辺の在来植物への影響に十分配慮する。処理については焼却処分とする。	50人程度	剪定バサミ、草抜き、移植ごて、種子除去マット等	ゴミ袋、手袋、お茶等	・駆除した外来植物は、ゴミ袋に入れて密閉し、諏訪市所有の運搬車両により諏訪湖周クリーンセンターに運搬し、焼却処分とする。 ・ボランティア保険未加入者については、保険加入手続を行う。
	車山高原 (ヘラバヒメジョオン・フランスギク)	北大塩財産区 車山高原観光協会	6月23日(水) 予備日6月24日(木)	車山高原に侵入が見られる「ヘラバヒメジョオン」及び「フランスギク」を駆除する。スキー場内のヘラバヒメジョオンの駆除については、手引に基づき刈取で実施する。ピーナスライン沿いに繁茂が見られるフランスギクの駆除については、地上部及び地下茎の駆除が必要であることから極力抜取により実施する。抜取の場合は土壌の攪乱を防ぐため抜取後は復元し、周辺の在来種への影響に十分配慮する。処理については焼却処分とする。	50人程度	剪定バサミ、草抜き、移植ごて、種子除去マット、交通安全対策用具等	ゴミ袋、手袋、お茶等	・駆除した外来植物は、ゴミ袋に入れて密封し、茅野市所有の運搬車両により諏訪南清掃センターへ運搬し、焼却処分とする。 ・道路沿いの作業では交通安全対策を講じる。 ・ボランティア保険未加入者については、保険加入手続を行う。
	強清水湿地付近 踊場湿原入口 (オオハンゴンソウ)	上桑原牧野 農業協同組合 小和田牧野 農業協同組合 諏訪市	第1回 7月8日(木) 予備日7月9日(金) 第2回 8月4日(水) 予備日8月5日(木)	強清水湿地付近及び天然記念物踊場湿原入口付近に侵入が見られる特定外来生物「オオハンゴンソウ」を駆除する。駆除方法としては手引に基づき、刈取(刈払機及び剪定バサミ)又は地下茎の掘取りにより行う。地下茎の掘取りに当たっては、土壌の攪乱を防ぐため掘取り後は復元し、周辺の在来植物への影響に十分配慮する。刈取の場合は同じ場所で年2回実施する。駆除できない個体が残った場合は花芽摘みを行い、霧ヶ峰スキー場、キャンプ場に繁茂する個体を含め、できるだけ残さないように駆除する。駆除した個体は外来生物法の規定及び長野県防除計画に基づき、焼却処分を行う。	60人程度	刈払機、剪定バサミ、草抜き、スコップ、移植ごて、万能袋、防災シート、熊手、種子除去マット等	ゴミ袋、手袋、お茶、燃料、替刃等	・駆除した外来植物は、ゴミ袋に入れ密封してトラックまたはパッカー車により諏訪湖周クリーンセンターに運搬し、焼却処分とする。 ・刈払機は経験者のみ使用する。 ・ボランティア保険未加入者については、保険加入手続を行う。
	インターチェンジ草地 (ヘラバヒメジョオン)		7月15日(木) 予備日7月16日(金)	霧ヶ峰インターチェンジ付近の強清水園地に侵入が見られる「ヘラバヒメジョオン」を駆除する。電気柵内のピーナスライン沿い、ススキ刈取を行う区域で実施し、手引に基づき刈取・抜取のいずれかで駆除する。抜取の場合は土壌の攪乱を防ぐため、抜取後復元し、周辺の在来種への影響に十分配慮する。処理については焼却処分とする。	30人程度	剪定バサミ、種子除去マット等	ゴミ袋、手袋、お茶等	・駆除した外来植物は、ゴミ袋に入れ密封して諏訪湖周クリーンセンターに運搬し、焼却処分とする。 ・ボランティア保険未加入者については、保険加入手続を行う。
草原	インターチェンジ草地 (ススキ群落)	下桑原牧野 農業協同組合	8月25日(水) 予備日8月26日(木)	霧ヶ峰インターチェンジ付近の強清水園地はススキが優占しているため、ススキを刈取草原外へ搬出することにより、ススキにダメージを与え、多様な植物が生育する草原に再生する。作業方法としてはなるべく他の植物を刈取らないようススキを株ごとに刈払機で刈倒し、万能袋や防災シート等を使って堆積する。堆積したススキは、堆肥化施設に搬入し、堆肥として活用する。作業範囲は概ね1haを目標とする。	60人程度 ・刈取班20人 ・運搬班40人	刈払機、熊手、手箕、万能袋、防災シート、交通安全対策用具等	手袋、お茶、燃料、替刃等	・必要に応じて道路使用許可を取り、道路横断箇所では交通誘導員を配置する等の安全対策を講じる。 ・刈払機は経験者のみ使用する。 ・ボランティア保険未加入者については、保険加入手続を行う。
	車山肩東 (ニッコウザサ群落)	霧ヶ峰高原 牧野農業協同組合	刈取作業 9月4日(土) 予備日9月5日(日) 運搬・搬出作業 9月7日(火) 予備日9月8日(水)	車山肩東側の防鹿電気柵内ではニッコウザサが優占しているため、ササを刈取草原外へ搬出することにより、ササにダメージを与え、多様な植物が生育する草原に再生する。作業方法としては、なるべく他の植物を刈取らないようにササを刈払機で刈倒し、万能袋や防災シート等を使って草原外へ搬出する。刈取範囲については、防鹿電気柵内を4つのエリアに分け、3年を目安にローテーションしながら概ね1haを目標とする。搬出したササは、ピーナスライン下の人工林へ堆積する。	刈取作業 20人程度 運搬・搬出作業 40人程度	刈払機、熊手、手箕、万能袋、防災シート、交通安全対策用具等	手袋、お茶、燃料、替刃等	・必要に応じて道路使用許可を取り、道路横断箇所では交通誘導員を配置する等の安全対策を講じる。 ・刈払機は経験者のみ使用する。 ・ボランティア保険未加入者については、保険加入手続を行う。